

岡谷市地域学校協働活動実施要領について（概要）

令和7年10月 教育総務課

1 目的

本市では、学校運営に参画するボランティア組織の横のつながりを作るため、信州型コミュニティースクールによる「学校運営委員会」を各校に設けています。

本要綱は、更に地域に開かれた学校づくりを進めるため、従来の学校支援体制を国が推進する「地域学校協働本部」に見直し、地域のボランティア組織や学校運営協議会等、学校を起点に、学校運営に参画する地域の組織や団体等のネットワーク化による「地域協働活動」の実施に関し、必要な事項を定めるものです。

2 地域学校協働本部

- ① 従来の学校運営委員会をベースに各校に「地域学校協働本部」を設けます。
- ② 協働本部は、学校の様々な支援活動を行う保護者、地域住民、団体、教職員等の学校関係者により編成する、ボランティアの横断的組織とします。
- ③ 協働本部には、学校運営協議会の委員も参画します。
- ④ 呼称は〇〇学校コミュニティ・スクールとします。（各校の判断で愛称も可。）
- ⑤ 協働本部に統括的コーディネートを行う学校協働活動推進委員を置きます。
推進委員は、協働本部の構成員又は地域住民の中から校長が選任します。
（推進委員に適任者がいない場合は、教職員から選任することもできます。）

3 主な役割

- ① 学校運営に関わる様々な活動等への横断的な協力、連携を図ります。
- ② 地域主体の学校支援活動を協働本部として取り組むことができます。
- ③ 学校の基本的な方針や取組等を説明し、幅広い意見交換等を行う機会として、定期的に全体集会を開催します。

4 根拠法令

社会教育法 第5条第2項

5 施行日

この要綱は公布の日から施行します。

6 その他

「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」が連携する学校支援体制の総称を「新岡谷版コミュニティ・スクール」とします。

学校運営協議会と同様に、準備や環境が整った学校から順次移行を進めます。

（新体制のイメージ図）

